

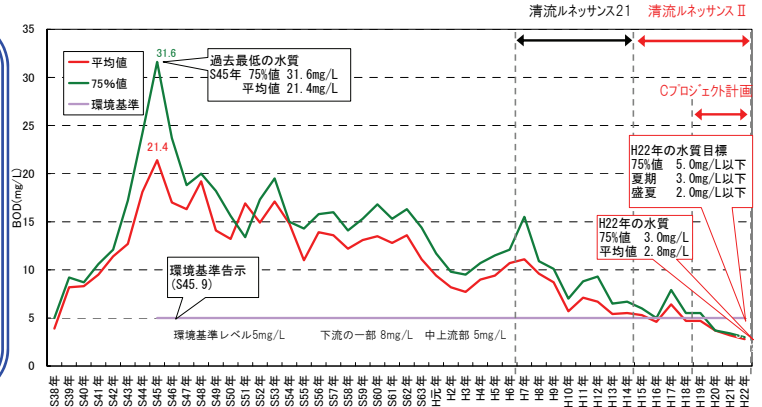
# 大和川水環境改善計画

H23：計画策定、H27：計画目標年

## ■水質の現状

大和川本川では、平成20年には本川8地点全てが環境基準 (BOD75%値) を達成するとともに、ワースト1を脱却するまでに至っています。  
大和川清流ルネッサンスII及びCプロジェクト計画2006 (水環境編) の目標水質 (BOD) については、大和川本川では全ての目標水質を達成しています。

## ■大和川本川8地点平均BODの推移



## ■大和川が抱える課題

- ・感覚による水質評価は良くない
- ・汚れた水にすむいきものが多い
- ・安心して水遊びができない
- ・不快なおいを感じる
- ・ごみ対策が不十分

ザリガニだ！



ランク	主な地点	水生生物の生息	主な生物指標
A		きれいな水にすむ生物	カワゲラ ナガレトビケラ 等
B	河内橋 浅香	少し汚い水にすむ生物	コガタシマトビケラ オオシマトビケラ 等
C	御幸大橋 藤井	汚い水にすむ生物	ミズムシ ミズカマキリ 等
D		大変汚い水にすむ生物	セスジユスチカ チョウバエ 等

ランク	ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水におい	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
A	川の中や水際にはごみは見あたらないまたは、ごみはあるが全く気にならない	100以上	快適である (素足で入りたいと感じる)	不快でない	100以下
B	川の中や水際にゴミが目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない (履物があれば入りたいと感じる)		1000以下
C	川の中や水際にゴミがあつて不快である	30以上	不快である (履物をはいても入りたくないと感じる)	水に鼻を近づけると不快なおいを感じる	1000を超えるもの
D	川の中や水際にゴミがあつてとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快なおいを感じる	

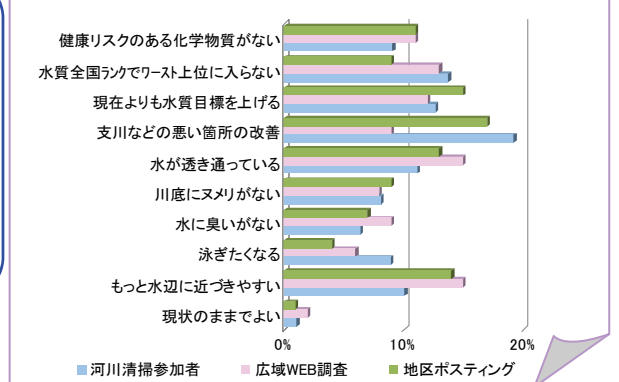
ちょっとにおうね？



## ■住民ニーズ

- ★平成21年度の大和川流域で実施したアンケート結果によると、「支川などの悪い箇所の改善」、「もっと水辺に近づきやすい」、「水が透き通っている」と回答する人が多い。
- ★今後はBODだけでなく多様な視点で水環境の改善を図っていく必要があります。

大和川、身近な河川の水質改善点



# 大和川水環境改善計画

H23：計画策定、H27：計画目標年

## 【水環境改善の方向性】

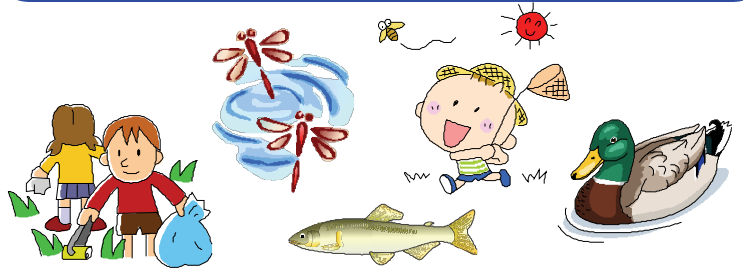
遊べる大和川  
生きものにやさしい大和川  
地域で育む大和川

## 【水環境の目標像】

- 子どもたちが水しぶきをあげながらいきいきと遊ぶことのできる水辺環境
- 人々が水辺に親しめる河川環境
- 多様な動植物が生息・生育できるような河川環境
- ごみのない水環境
- 良好な水環境 等

## ■水環境改善の方向性と目標像

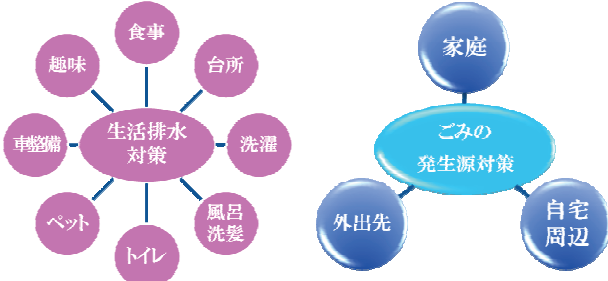
大和川本川及び支川の水質の将来見通し、水生生物の生息・生育状況、水辺の利用状況、水辺へのアクセス、河川景観、地域住民のニーズ等を踏まえて、水環境の目標像を設定しました。



## □発生源対策

### ◎生活排水対策、ごみ対策の推進

- 一人ひとりの取り組みの効果はわずかですが、流域住民が一斉に取り組む効果は大きいです！

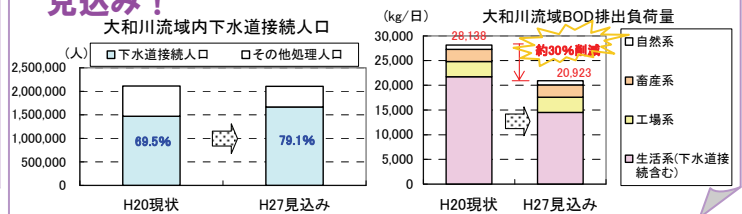


☆生活排水対策への参加で、一人ひとりが発生する生活雑排水のBOD発生負荷量の10～15%削減が期待！

## □汚濁負荷対策

### ◎下水道事業、浄化槽事業の推進

- 下水道整備区域内では、下水道接続を促進！
- 下水道の整備状況や見通しなど地域の諸事情を考慮し、その地域にふさわしい合併処理浄化槽の整備を推進！
- ☆平成27年に流域内人口の約8割が下水道に接続する見込み！
- ☆大和川流域BOD排出負荷量が約3割削減される見込み！



## □河川本来機能の再生対策

### ◎再生対策の推進

- 本川における瀬・淵の再生、水際環境の保全・再生、官学民が連携したアユの産卵場所整備の試行！
- 支川における多自然川づくり等を推進！
- 安全で快適な親水空間を提供！

☆アユ、オイカワ、ホタル、ヨシ等の生息・生育環境が拡大！

☆子どもたちが安全に水遊びできる空間が拡大！



## □目標達成が困難な支川の重点対策

### ◎支川毎の重点対策の推進

- 水質改善効果を検証し、結果を公表する(見える化)！

☆菰川導水実験により、水質改善効果が見えた！



実践した結果の見える化だ！

